



平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)



平成25年1月31日
上場取引所 東

上場会社名 リオン株式会社
コード番号 6823 URL <http://www.rion.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 井上清恒
問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員事業支援本部長 (氏名) 清水健一
四半期報告書提出予定日 平成25年2月13日
配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

TEL 042-359-7099

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	12,414	3.5	1,113	38.0	1,113	43.3	653	136.1
24年3月期第3四半期	11,994	△2.4	807	△14.9	777	△15.8	276	△52.6

(注) 包括利益 25年3月期第3四半期 645百万円 (31.2%) 24年3月期第3四半期 491百万円 (△14.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
25年3月期第3四半期	62.36	62.01
24年3月期第3四半期	26.42	26.39

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第3四半期	21,528	11,652	54.0
24年3月期	22,453	11,206	49.8

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 11,620百万円 24年3月期 11,178百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
24年3月期	—	0.00	—	20.00	20.00
25年3月期	—	0.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	20.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	17,100	2.8	1,500	14.6	1,400	8.4	700	24.6	66.80

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

・連結業績予想は、当社が現在入手している情報等に基づき算出しております。詳細は、添付資料3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期3Q	10,503,100 株	24年3月期	10,492,000 株
② 期末自己株式数	25年3月期3Q	17,107 株	24年3月期	17,107 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期3Q	10,478,826 株	24年3月期3Q	10,474,927 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(6) 追加情報	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期におけるわが国の経済は、東日本大震災からの復興需要などに支えられ緩やかな回復傾向にあったものの、中国をはじめとする海外経済の減速や円高相場の長期化による輸出減少などから、後退局面が明らかとなりました。

このような経済環境のもと、当社グループの業績につきましては、補聴器において新たに発売した高付加価値製品が売上高に大きく貢献したことや、上期にはやや停滞していた騒音計等の販売がほぼ前年同期並みに回復したことなどにより、前年同期と比べて増収増益となりました。

当第3四半期累計期間の業績を前年同期と比較しますと、次のとおりとなります。

(金額単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)	増減	増減率 (%)
売上高	11,994	12,414	419	3.5
営業利益	807	1,113	306	38.0
経常利益	777	1,113	336	43.3
四半期純利益	276	653	376	136.1

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

(医療機器事業)

補聴器では、製品ラインナップの強化を図るべく、平成24年6月並びに8月に当社最上位クラスとなる新製品リオネットマジェスシリーズを発売し好評を博しております。また、敬老の日を中心とした拡販イベントの実施に加え、年末商戦においては歳末フェアを行うなどの拡販に努めた結果、売上高が増加しました。医用検査機器では、医療機関向け聴力検査室の販売や、診断用オージオメータの買替需要が堅調に推移したことなどから、売上高は前年同期並みを確保することができました。

これらの結果、医療機器事業は前年同期と比べて増収増益となりました。

(環境機器事業)

音響・振動計測器では、国内においては、官公庁を中心とした受注が下期以降回復傾向となり、航空機騒音監視装置や、道路環境センサ向けに汎用計測器の販売が堅調に推移したことなどから売上高が増加しました。一方、海外においては、欧州の景気後退や円高の影響などにより買い控え傾向が強まったことから販売がやや伸び悩みました。微粒子計測器では、海外において販売拡大策の実施やサービスの向上に努めた結果、大手半導体メーカーや関連するケミカルメーカー、装置メーカー等への売上高が増加したものの、国内主要顧客である半導体関連産業の生産拠点が海外移転したことなどにより、売上高が減少し、前年同期実績には僅かに届きませんでした。

これらの結果、環境機器事業では前年同期と比べて僅かに減収となったものの、営業費用が前年同

期をやや下回ったことから僅少なながら増益となりました。

当第3四半期累計期間のセグメントごとの業績を前年同期と比較しますと、次のとおりとなります。

(単位：百万円)

セグメントの名称	売上高			営業費用			営業利益		
	24年3月期 第3四半期	25年3月期 第3四半期	増減	24年3月期 第3四半期	25年3月期 第3四半期	増減	24年3月期 第3四半期	25年3月期 第3四半期	増減
医療機器事業	7,537	7,965	428	6,839	6,979	139	697	986	289
環境機器事業	4,457	4,448	△8	4,347	4,321	△26	109	127	17
計	11,994	12,414	419	11,187	11,300	113	807	1,113	306

(2) 連結業績予想に関する定性的情報

医療機器事業では、補聴器において、上期に投入した新製品リオネットマジェスシリーズの好調な販売が継続するものと見込まれるほか、製品の補聴効果を高める両耳装用を推奨することにより、更なる拡販に努めてまいります。また、医用検査機器では、引き続き医療機関における設備投資が継続するものと見込んでおり、診断用オージオメータの最上位機種を中心に販売増加を目指してまいります。

環境機器事業では、音響・振動計測器において、当社グループの強みである環境計測市場の需要が徐々に増加するものと見込んでおり、期末へ向けて販売活動を強化するとともに、今後の執行が見込まれる官公庁の予算案件を確実に捕捉してまいります。また、微粒子計測器では、海外の半導体関連市場を中心に需要が持続するものと見込んでおり、引き続き半導体メーカーや関連するケミカルメーカー、装置メーカー等をターゲットに液中微粒子計の販売に注力してまいります。

連結業績予想につきましては、期末へ向けほぼ見込どおりに推移するものと考えられることから、平成24年5月1日に公表した数値を変更しておりません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,048,844	1,590,234
受取手形及び売掛金	5,295,096	4,735,234
たな卸資産	3,015,053	3,366,129
その他	759,467	611,084
貸倒引当金	△58,659	△81,775
流動資産合計	11,059,802	10,220,906
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,084,408	2,021,512
土地	6,184,531	6,272,129
その他(純額)	857,311	807,210
有形固定資産合計	9,126,252	9,100,852
無形固定資産		
投資その他の資産	435,412	367,120
その他	1,923,615	1,919,670
貸倒引当金	△91,236	△80,237
投資その他の資産合計	1,832,378	1,839,433
固定資産合計	11,394,043	11,307,406
資産合計	22,453,845	21,528,313
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,092,735	1,128,312
1年内償還予定の社債	710,000	540,000
短期借入金	872,780	837,680
未払法人税等	273,255	66,602
賞与引当金	728,722	395,343
製品保証引当金	152,970	158,031
返品調整引当金	50,662	55,003
その他	325,616	445,961
流動負債合計	4,206,742	3,626,935
固定負債		
社債	850,000	540,000
長期借入金	1,759,915	1,221,830
退職給付引当金	2,508,817	2,568,281
その他	1,921,910	1,918,789
固定負債合計	7,040,642	6,248,901
負債合計	11,247,385	9,875,836

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,284,976	1,288,179
資本剰余金	1,708,474	1,711,677
利益剰余金	4,822,400	5,266,374
自己株式	△10,094	△10,094
株主資本合計	7,805,756	8,256,136
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	86,847	78,170
土地再評価差額金	3,288,541	3,288,541
為替換算調整勘定	△2,657	△1,910
その他の包括利益累計額合計	3,372,731	3,364,801
新株予約権	27,971	31,539
純資産合計	11,206,460	11,652,477
負債純資産合計	22,453,845	21,528,313

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
売上高	11,994,366	12,414,144
売上原価	5,828,151	5,889,637
売上総利益	6,166,214	6,524,507
販売費及び一般管理費	5,359,109	5,410,926
営業利益	807,105	1,113,581
営業外収益		
受取利息	3,788	3,092
受取配当金	9,796	9,856
受取家賃	21,283	22,275
受取保険金	10,713	15,864
その他	19,346	11,770
営業外収益合計	64,929	62,859
営業外費用		
支払利息	41,148	31,821
その他	53,568	31,110
営業外費用合計	94,717	62,932
経常利益	777,317	1,113,508
特別利益		
固定資産売却益	522	—
投資有価証券売却益	—	832
特別利益合計	522	832
特別損失		
固定資産除却損	8,286	7,138
固定資産売却損	—	229
投資有価証券評価損	4,077	83
災害による損失	44,535	—
特別損失合計	56,899	7,451
税金等調整前四半期純利益	720,940	1,106,889
法人税、住民税及び事業税	236,084	342,995
法人税等調整額	208,065	110,423
法人税等合計	444,150	453,418
少数株主損益調整前四半期純利益	276,790	653,471
四半期純利益	276,790	653,471

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	276,790	653,471
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△42,289	△8,677
持分法適用会社に対する持分相当額	△1,060	746
土地再評価差額金	258,452	—
その他の包括利益合計	215,101	△7,930
四半期包括利益	491,892	645,540
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	491,892	645,540
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第3四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	医療機器事業	環境機器事業	計		
売上高					
(1) 外部顧客への売上高	7,537,209	4,457,157	11,994,366	—	11,994,366
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	7,537,209	4,457,157	11,994,366	—	11,994,366
セグメント利益	697,387	109,718	807,105	—	807,105

(注) セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

当第3四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	医療機器事業	環境機器事業	計		
売上高					
(1) 外部顧客への売上高	7,965,938	4,448,206	12,414,144	—	12,414,144
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	7,965,938	4,448,206	12,414,144	—	12,414,144
セグメント利益	986,560	127,020	1,113,581	—	1,113,581

(注) セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) 追加情報

リオン計測器販売(株) (音響・振動計測器、微粒子計測器及びその関連製品の販売) は、第3四半期連結会計期間において清算終了したため、連結の範囲から除外しております。なお、同社の業務は、平成24年4月に開設した当社東日本営業所(さいたま市南区)に移管しております。